

## 「事業名：“オール近大”川俣町発・復興人材育成プロジェクト」

**近畿大学 連携市町村：川俣町**  
**現地拠点：伊達郡川俣町 川俣町役場西分庁舎**

### 事業のポイント

- ・複数の重点分野(A:農業・食、B:観光、C:地域コミュニティ、D:SDGs)を中心に多種多様な教育研究プログラム(プログラム群)を開発し、大学生・地域住民に対して適用(実施)する。
- ・総合大学としての強み(研究力・教育力・実行力・発信力)を活かし、近畿大学の総力を挙げて、“オール近大”で事業を実施する。

### 人材育成・定着計画及び目標

- ・SDGsや持続可能社会の構築への理解・マインドを有し、かつ、震災復興や福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与し、多種多様な専門性を有する未来志向の「復興人材」の育成・定着・拡大を図る。

### 2026年度の活動内容

- 1 人材育成・定着計画及び目標の設定
  - (1)川俣町関係者との連携体制の構築（「川俣町発 復興人材育成検討会」の開催 等）
  - (2)人材育成・定着計画及び目標の設定、達成状況の確認
- 2 教育研究プログラムの開発・実施
  - (1)農業・食関連【重点分野(以下、重)A】  
 （「地域資源を活用した商品開発・販売支援」「農業農村インターンシップ」「農業振興に貢献する技術指導」 等）
  - (2)観光関連【重B】（「地域資源を活用した観光開発」 等）
  - (3)地域コミュニティ関連【重C】（「地域コミュニティ活性化プログラム」 等）
  - (4)SDGs関連【重D】（「SDGs関連の教材制作・授業支援」「SDGs推進プログラム」 等）
  - (5)その他（「川俣町役場でのインターンシップ」 等）
- 3 市町村分科会
- 4 その他(川俣町の住民を対象としたアンケート調査 等)

### 取組によって得られる成果

- ・“オール近大”という学部を超えた全学的な取り組みを行うことにより、震災復興や福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与する**多種多様な人材育成のための教育研究プログラムの開発**の進展が期待される。
- ・西日本を拠点とする近畿大学が様々な関係者を巻き込みながら積極的に活動を展開することで、震災の風化が懸念される中、“オールジャパン”での**復興活動の進展**への貢献が期待される。

